



2026年7月29日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
14,356万kW
13時30分、143,560 MW
(10エリア同時刻合計)

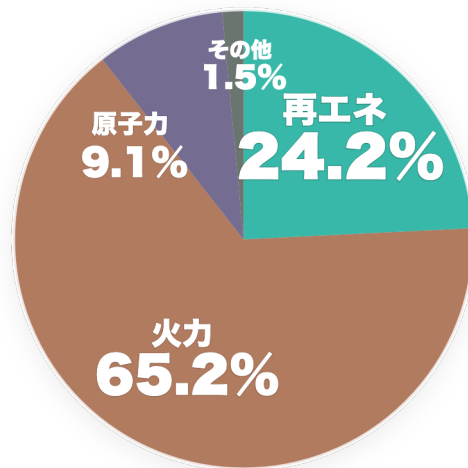
☀ 太陽光ピーク
4,386万kW
12時30分、43,856 MW
(自家消費分除く)

≈ 風力ピーク
174万kW
23時30分、1,740 MW

◇ 再エネ最大需要比
41.4%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
121 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
109 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 41.1%

34.7 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

54.0 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、15:30に4,773万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで41.1%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	24.2%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	680 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力 量	2,808 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	41.4%	12時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	54.0 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	41.1%	34.7	0.0	送電 7.9
東北	33.6%	110	0.0	送電 109
東京	20.5%	164	0.0	受電 121
中部	31.6%	118	0.0	受電 49.8
北陸	33.1%	30.4	0.0	送電 11.1
関西	15.6%	69.9	0.0	受電 47.0
中国	19.2%	35.2	0.0	受電 6.7
四国	21.0%	25.9	0.0	送電 34.7
九州	26.0%	89.0	0.0	送電 41.2
沖縄	9.9%	3.3	0.0	—



2026年7月29日の供給実績

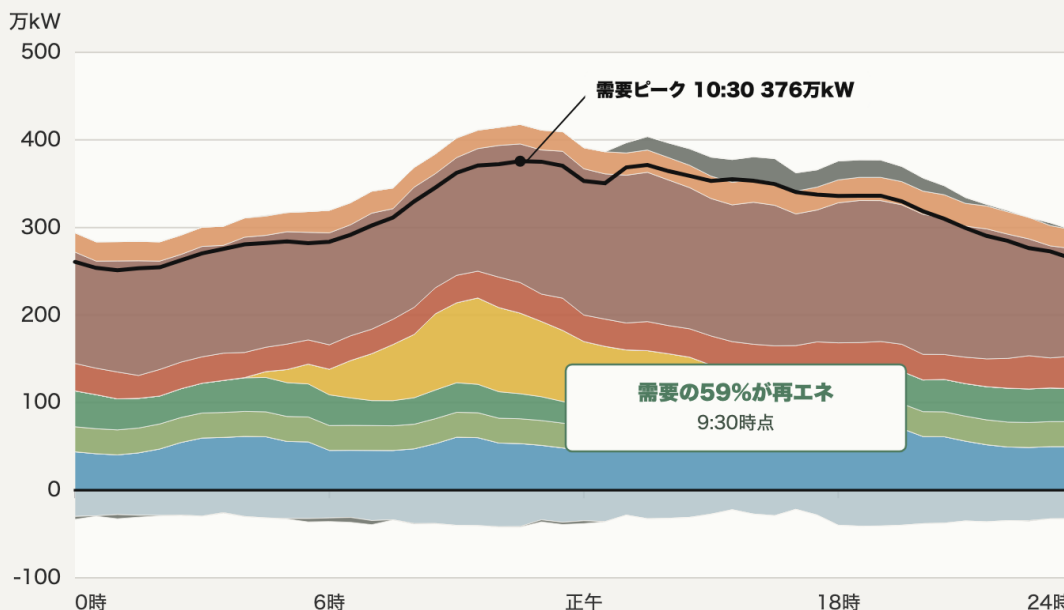
北海道エリア

再エネ

34.7GWh

(発電電力量ベース41.1%)

北海道エリア 2026年7月29日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

84.2GWh

需要ピーク

10:30、376万kW

連系線・その他

7.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク99万kW、風力ピーク41万kWで、時間別の再エネ最大需要比は59.2%だった。



2026年7月29日の供給実績

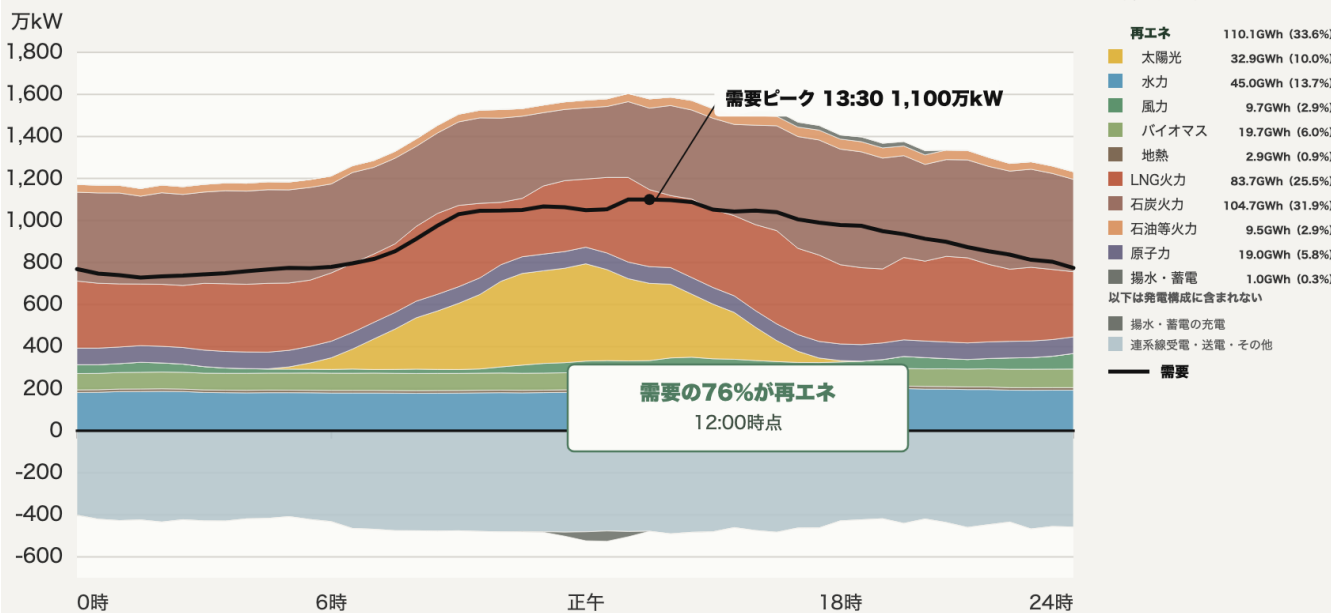
東北エリア

再エネ

110.1GWh

(発電電力量ベース33.6%)

東北エリア 2026年7月29日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

328.0GWh

需要ピーク

13:30、1,100万kW

連系線・その他

108.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク463万kW、風力ピーク74万kWで、時間別の再エネ最大需要比は75.7%だった。



2026年7月29日の供給実績

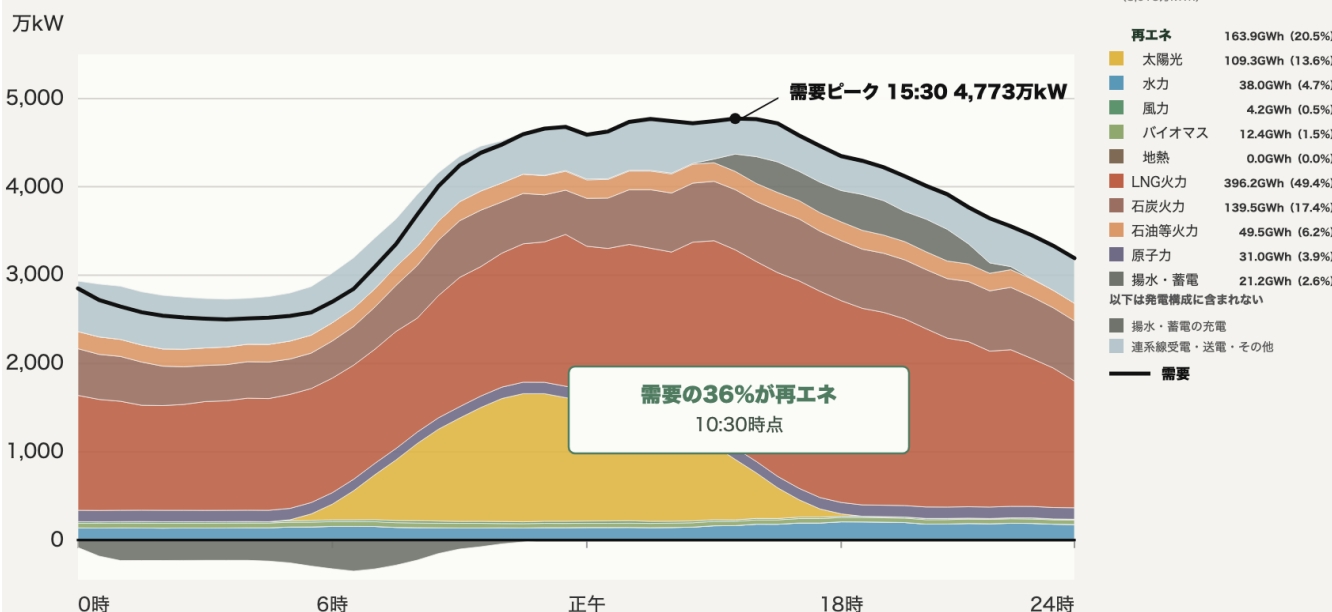
東京エリア

再エネ

163.9GWh

(発電電力量ベース20.5%)

東京エリア 2026年7月29日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

801.3GWh

需要ピーク

15:30、4,773万kW

連系線・その他

120.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電

22.8GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,451万kW、風力ピーク26万kWで、時間別の再エネ最大需要比は36.1%だった。



2026年7月29日の供給実績

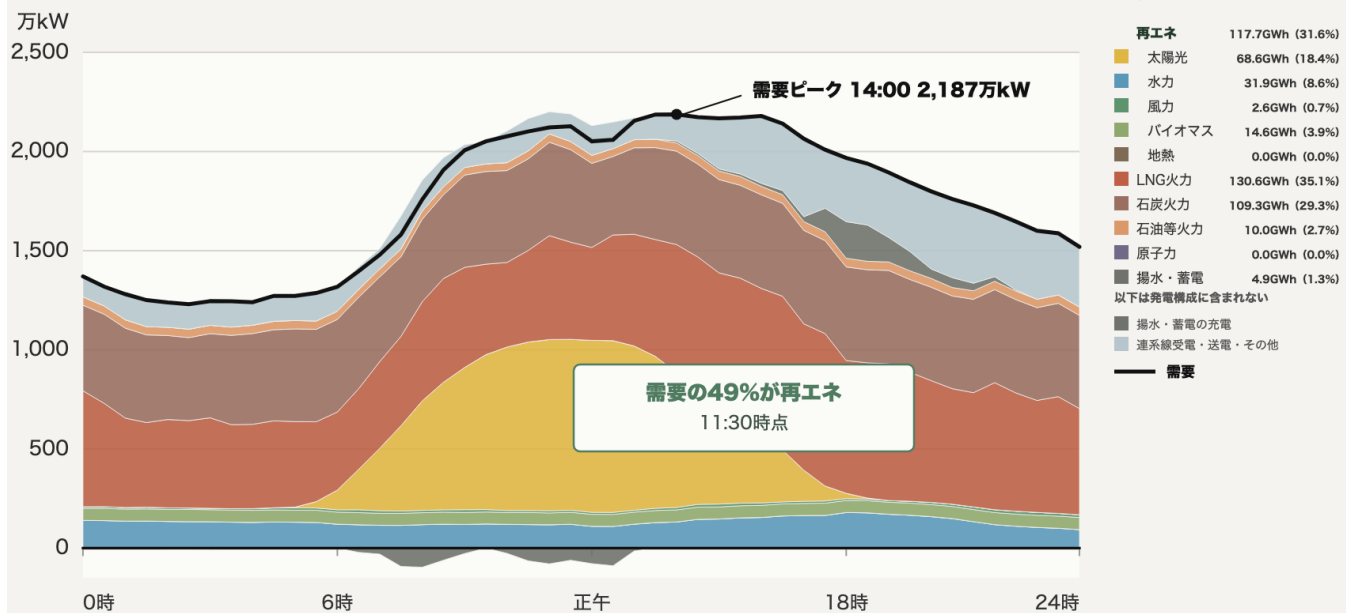
中部エリア

再エネ

117.7GWh

(発電電力量ベース31.6%)

中部エリア 2026年7月29日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量
372.5GWh

需要ピーク
14:00、2,187kW

連系線・その他
49.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
3.8GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク868kW、風力ピーク15kWで、時間別の再エネ最大需要比は51.1%だった。



2026年7月29日の供給実績

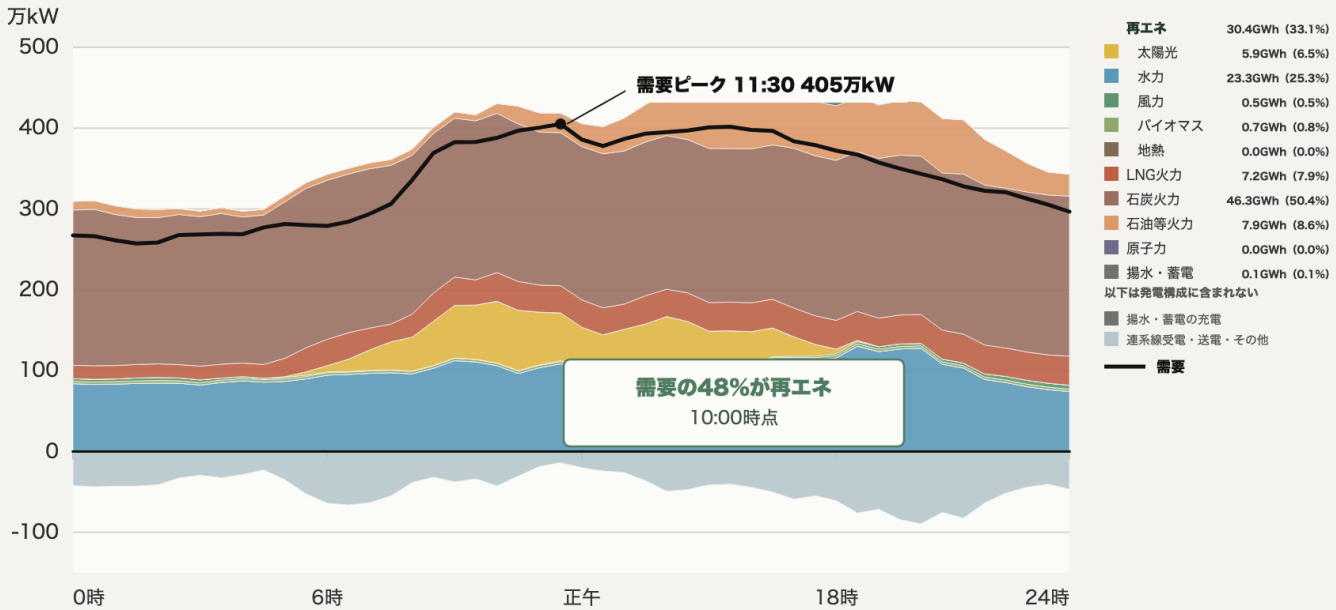
北陸エリア

再エネ

30.4GWh

(発電電力量ベース33.1%)

北陸エリア 2026年7月29日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

91.9GWh

需要ピーク

11:30、405万kW

連系線・その他

11.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク76万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は47.9%だった。



2026年7月29日の供給実績

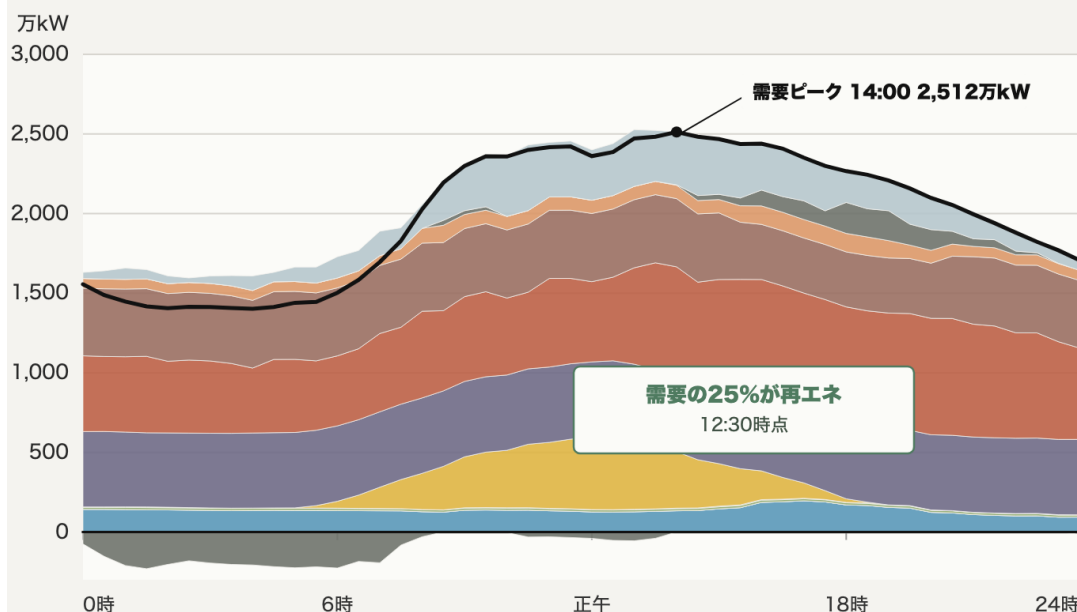
関西エリア

再エネ

69.9GWh

(発電電力量ベース15.6%)

関西エリア 2026年7月29日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 448GWh
(4,476万kW)

再エネ	69.9GWh (15.6%)
太陽光	33.2GWh (7.4%)
水力	33.0GWh (7.4%)
風力	0.6GWh (0.1%)
バイオマス	3.1GWh (0.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	138.7GWh (31.0%)
石炭火力	98.2GWh (21.9%)
石油等火力	19.1GWh (4.3%)
原子力	113.4GWh (25.3%)
揚水・蓄電	8.2GWh (1.8%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

447.6GWh

需要ピーク

14:00、2,512万kW

連系線・その他

47.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電

16.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク462万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は25.2%だった。



2026年7月29日の供給実績

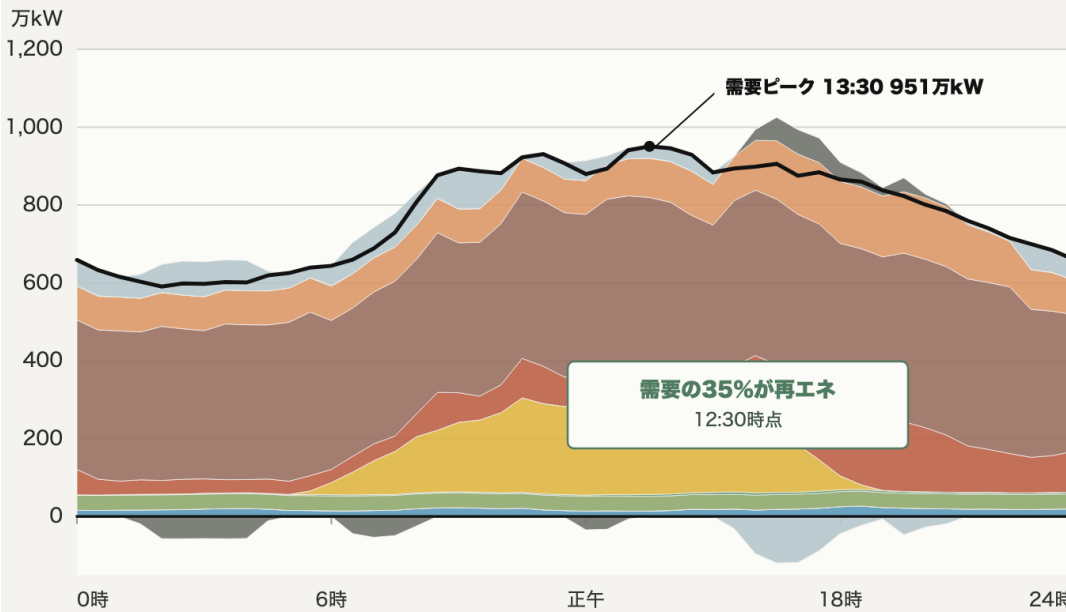
中国エリア

再エネ

35.2GWh

(発電電力量ベース19.2%)

中国エリア 2026年7月29日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

182.8GWh

需要ピーク

13:30、951万kW

連系線・その他

9.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電

2.8GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク260万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は35.3%だった。



2026年7月29日の供給実績

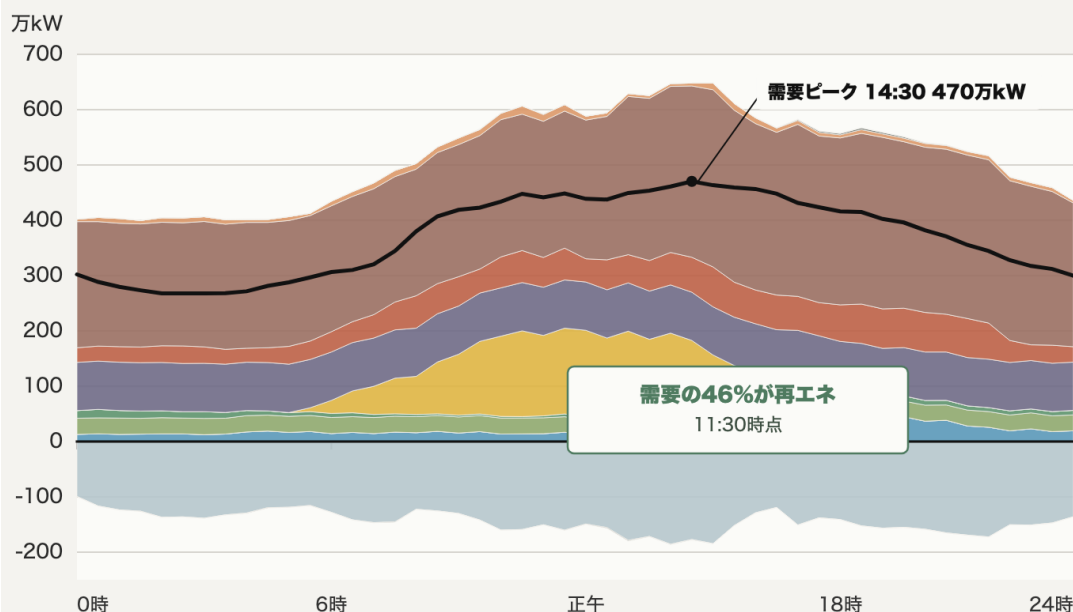
四国エリア

再エネ

25.9GWh

(発電電力量ベース21.0%)

四国エリア 2026年7月29日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 124GWh
(1,236万kW)

再エネ	25.9GWh (21.0%)
太陽光	12.1GWh (9.8%)
水力	5.1GWh (4.1%)
風力	1.9GWh (1.5%)
バイオマス	6.9GWh (5.6%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	11.7GWh (9.5%)
石炭火力	63.0GWh (51.0%)
石油等火力	1.9GWh (1.5%)
原子力	20.9GWh (16.9%)
揚水・蓄電	0.1GWh (0.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

123.6GWh

需要ピーク

14:30、470万kW

連系線・その他

34.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク156万kW、風力ピーク15万kWで、時間別の再エネ最大需要比は45.9%だった。



2026年7月29日の供給実績

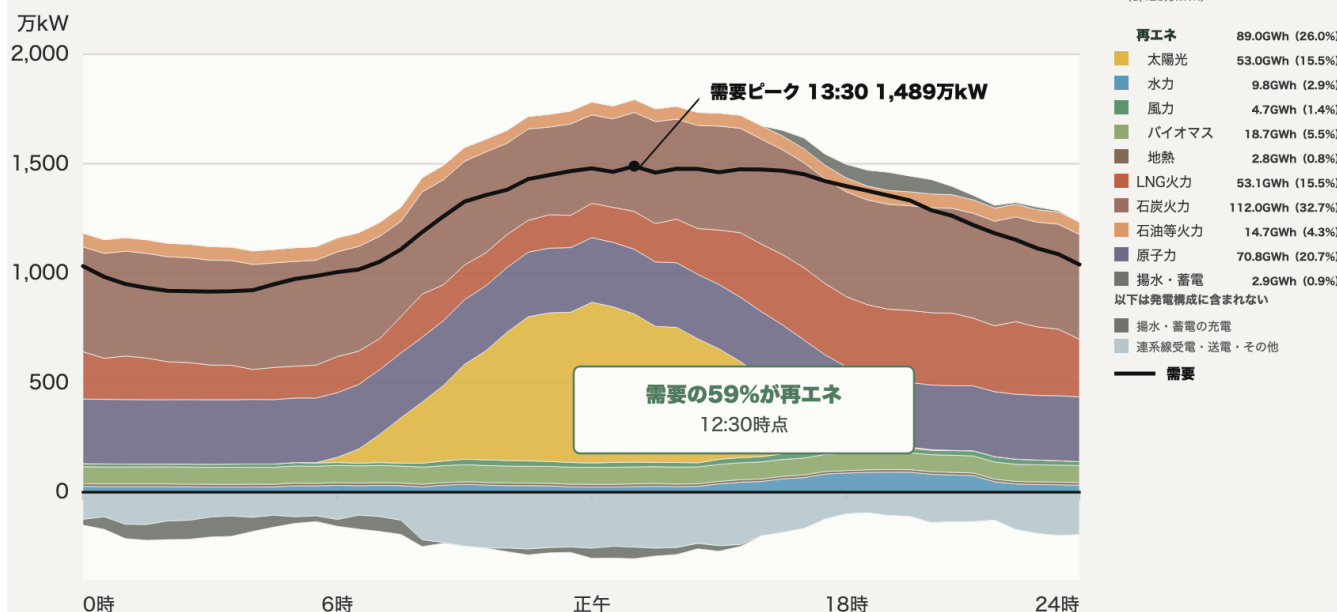
九州エリア

再エネ

89.0GWh

(発電電力量ベース26.0%)

九州エリア 2026年7月29日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

342.6GWh

需要ピーク

13:30、1,489万kW

連系線・その他

41.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

6.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク734万kW、風力ピーク27万kWで、時間別の再エネ最大需要比は58.6%だった。



2026年7月29日の供給実績

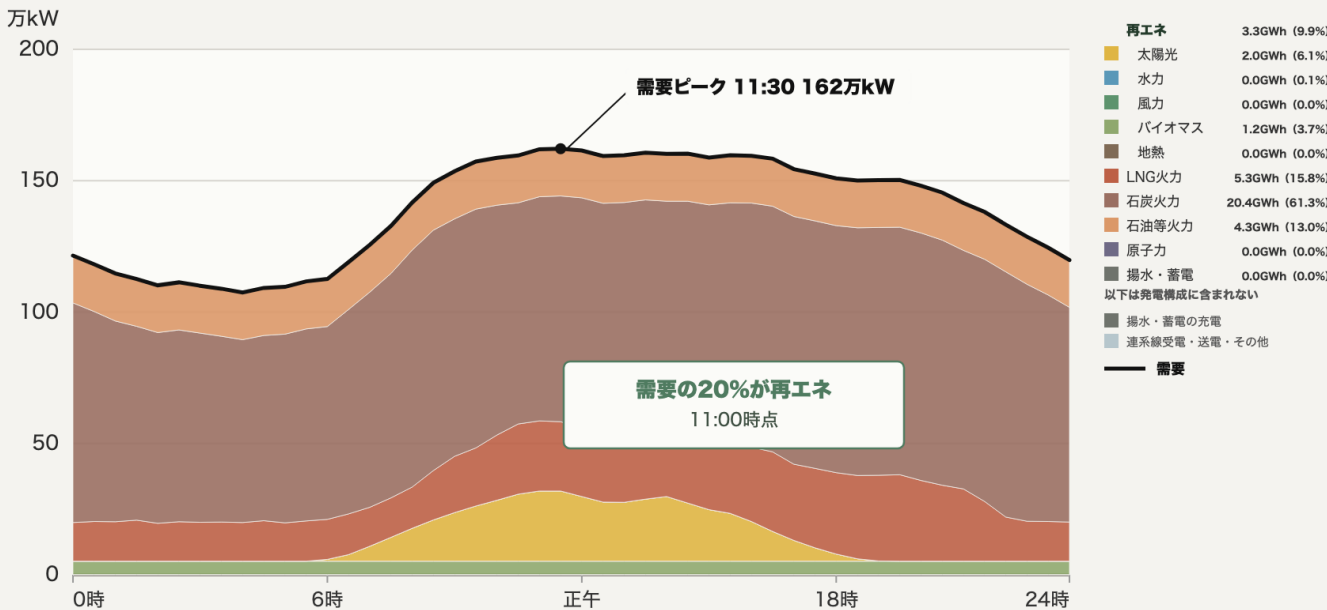
沖縄エリア

再エネ

3.3GWh

(発電電力量ベース9.9%)

沖縄エリア 2026年7月29日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

33.3GWh

需要ピーク

11:30、162万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク27万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は19.7%だった。